

平成二十六年 度 日高看護専門学校 入学試験問題

〔地域枠・社会人〕

〔国語〕

（時間：六十分）

《注意事項》

- 1 試験監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください。
- 2 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があります。監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。
- ① 氏名欄に、氏名・フリガナを記入してください。
- ② 番号欄に、右詰めで受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしてください。
- 3 正しくマークされていない場合には、採点できないことがあります。
- 3 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしてください。
- 国語の問題は全部で三七問あります。解答用紙の問一から問三七までの解答欄を使用してください。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験終了後に問題冊子を回収しますので持ち帰らないでください。
- 6 問題冊子の所定の欄に受験番号を記入してください。

受 験 番 号

一 次の問いに答えなさい。解答番号は①～⑤。

問一 次の作品の中で、作品の書かれた時代が違うものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は①。

- ① 大鏡 ② 古今和歌集 ③ 源氏物語 ④ 金槐和歌集

問二 次の書き出しで始まる作品の題名を、あとから一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は②。

わたくし
私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。これは世間を憚^{はば}かる遠慮というよりも、その方が私にとって自然だからである。

- ① 檸檬 ② 暗夜行路 ③ こころ ④ 山椒魚

問三 次のうち、敬語の使い方が誤っているものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は③。

- ① 早速、検討のために必要な資料をお送りいたします。
② あなたの父上にお会いして、私自身の考えを申し上げたい。
③ 私の店には、必ず、あなたされる希望の品がございます。
④ 京都のお菓子です。よろしければ、いただいでください。

問四 「心機一転」と同じ漢字の構成で成り立っている四字熟語を一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は④。

- ① 半信半疑 ② 君子豹変 ③ 千変万化 ④ 一喜一憂

問五 次の傍線部の語句と同じ品詞が用いられているものを、あとから一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は⑤。

⑤

日本ではないその国には、明確な四季がない。

- ① 今日は、静かな一日で、心が安らいだ。
② その本は、私が特に好きな一冊である。
③ 楽しい時間を、その人と共に過ごした。
④ 吉野の山に咲いている美しい桜を見る。

二 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。 解答番号は ⑥ ②②

三歳の姪っ子はもちろんまだ字は読めないのだが、本をめくるのは上手である。絵本に限らず『家庭画報』でも『文藝春秋』でも、一ページ一ページ最初から最後まで粘り強くめくることができる。

ところが先日、ただ単にめくっているだけではなく、時折ページのある一点を素早く指差しているのに気づいた。目に見えない誰かに向かって、暗号を送るような^aシグサだった。注意して^bカンサツすると、その一点はすべてひらがなの「る」であった。数ある文字の中から、たった一文字「る」だけが、彼女の指先により特別な印を与えられていた。

たぶん「る」の形が彼女の好みに一番フィットしたのではないだろうか。よく見れば、確かに愛らしい形をしている。リボンの端がクルッと丸まったようでもあるし、リスがクルミを抱いているようでもある。彼女の中で「る」が一体どんなものに変身し、どんな物語を作り出しているのか想像もつかないが、きっとそれはふわふわと柔らかく、思わず手をのばして頬ずりせずにはいられない形をしているのだろう。そして彼女と「る」は、大人が誰も邪魔できない、二人だけの親密な関係を築いているのだ。

少年時代の思い出を綴った中勘助の自伝的小説『銀の匙』には、「を」の字のエピソードが登場する。主人公の少年は病弱で泣き虫で、伯母さんの後ろばかりくっついて回っている。人見知りの彼は、半日でも一日でも窓と簞笥の隙間に入り込んでいた。いつとはなしに少年は、簞笥に鉛筆で「を」の字を書き始める。大小無数の「を」が簞笥の横板にずらずらと行列を通来る。

A これは単なる落書きではなかった。彼は「を」の字に女性が正座している姿を見出し、弱虫の自分を慰めていたのである。「を」の字に潜む女性は心優しい人物であった。彼の気持ちを親切に受け止めてくれたらしい。

薄暗い片隅で少年は、鉛筆の先が簞笥の木目に埋まるのも気にせず、一心に「を」の字を書いている。やがて小さな字の奥から、女の人が微笑みかけてくる。慎ましい着物姿の女性だ。その人は少年の頭をそつと撫でくれる。「いい子だねえ。とってもいい子だねえ」という声も聞こえてくる。髪の毛に触れる掌は温かく、鼓膜に響く声はジアイに満ちている。その時少年と「を」の間には、彼らだけに通じ合う物語が広がっている。

子供が初めて言葉を覚えてゆく^dカテイでは、きっと大人の想像をはるかに超えるドラマティックな^eテンカイが繰り広げられているに違いない。残念ながら中勘助のような人は稀で、多くの子供たちは文字との初々しい関わりを自分だけの秘密にして、大人には教えてくれない。

ただ、作家の母国語ではない言葉で書かれた小説を読む時、子供たちの隠している秘密の一端が垣間見えることがある。

例えば、アゴタ・クリストフは一九五六年、ハンガリー動乱の折に西側に^fボウメイし、大人になってから習得したフランス語で^gケツサク『悪童日記』を書いた。これは、第二次世界大戦末期、祖母の元に預けられた双子の少年が、過酷な現実の中^hしたたかにⁱ生き延びてゆくさまを、双子がノートに記した作文という形で表現した小説である。クリストフ自身のフランス語がまだ定着しきっていない点、さらに満足な教育を受けていない双子たちの

言語能力の未熟な点、この二つが二重になって『悪童日記』の トクイ^hな魅力を引き出している。

B、一個一個の言葉があまりにもむき出しなのである。当然私は ホンヤクⁱで読んだのだが、そこには、原始の人間が初めてその言葉を口に出したときの息遣いが残っている。余計な価値観、お節介な前例、気取った飾りなどすべて無視した、辞書に載る前の、ありのままの言葉たちが ヤクドウ^jしている。こんな当たり前の言葉に、こんな豊かなイメージが隠されていたのか、と私はしばしば打ちのめされた。ぶっきらぼうとも言える簡潔すぎる文体が深く¹改めて自分の文章がいかに手垢にまみれているか思い知らされるようだった。

手垢にまみれる前の子供たちの言語感覚には、もしかすると文学の新しい可能性が秘められているのかもしれない。

「今日、遠足に行つて、楽しかった」

という一文は、実はとても名文なのだ。大人たちはあれこれ取り繕っているが、楽しい時は、楽しいとしか書けないものなのだ。と、そんなことを考えた。

さて、私自身はどんなふうにして文字と出会っていったのだろうか。最初に友達になったのはどの文字だったのだろうか。残念ながら何も思い出せない。私にとって「る」は「る」であり、「を」は「を」であり、それ以外の何ものでもない。²もし、当時の記憶が残っていれば、素晴らしい小説が書けるかもしれないのに……。

(小川洋子「とにかく散歩いたしましょう」)

問一 傍線部 a～j と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|----------------------|---|------------------|---|-----------------|
| a | シグサ ^[6] | ① | 大きすぎてシマツに負えない。 | ② | 製品のシヨウを変更する。 |
| | | ③ | 管理者のシジ通りに避難する。 | ④ | 過去の統計がシサする。 |
| b | カンサツ ^[7] | ① | 教授のカンシュウした辞書を使う。 | ② | これまでの事情をカンアンする。 |
| | | ③ | カンネンに捕われて考える。 | ④ | カンカできない問題がある。 |
| c | ジアイ ^[8] | ① | 干天のジウとなった。 | ② | 温泉ヘトウジに出かける。 |
| | | ③ | 病気にはジヨウが肝要だ。 | ④ | ジリョクで反発する。 |
| d | カテイ ^[9] | ① | 団体の設立をニンカする。 | ② | カカクを改定する。 |
| | | ③ | カジヨウな包装を廃止する。 | ④ | 学校の前期カテイを修了する。 |
| e | テンカイ ^[10] | ① | ハッテン途上国を支援する。 | ② | 船首を右ヘテンカイする。 |
| | | ③ | テンケイ的な例を挙げる。 | ④ | テンプされた説明書を読む。 |
| f | ボウメイ ^[11] | ① | 守備のボウガイを突破する。 | ② | ボウエイ機能を点検する。 |
| | | ③ | 危険なボウケンをする。 | ④ | 国のコウボウの歴史を知る。 |
| g | ケツサク ^[12] | ① | ケツキ盛んな若者たちが集まる。 | ② | 他と比べてケツシュツしている。 |
| | | ③ | 売上の代金をケツサイする。 | ④ | ケツペキで、掃除ばかりする。 |

h トクイ 13

① イゼンからの課題を解決する。

② 友人からのイライを断る。

③ トクイ先へ挨拶に回る。

④ イソウの人物と出会う。

i ホンヤク 14

① ホンポウに振る舞う。

② 相手のホンイをただす。

③ 出版社がホンアンする。

④ 秘かにムホン企てる。

j ヤクドウ 15

① 初めてのタイヤクを務める。

② 産業のヤクシンを後押しする。

③ イヤクの力を借りて治す。

④ 反論をシュウヤクする。

問二 空欄A・Bにあてはまる接続語として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答番号

は 16・17。

A 16

① あるいは ② したがって ③ しかし ④ しかも

B 17

① だから ② つまり ③ また ④ たとえば

問三 二重傍線部「垣間見える」・㉑「したたかに」の意味として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で

答えなさい。解答番号は18・19。

㉑ 18

① 思わず伺える ② 伺い知れる

③ 覗き込める ④ こっそり覗ける

㉒ 19

① 必死に ② 前向きに

③ 計算高く ④ しぶとく

問四 傍線部1「改めて自分の文章がいか手垢にまみれているか思い知らされるようだった」とあるが、筆者は

「手垢にまみれている」ことがどのような意味を持つと考えているのか。最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は20。

① 未熟な言葉を飾り立てることによって、気取った文章になっているということ。

② 前例を気にするあまり、ありのままの言葉を恐れるようになっていくということ。

③ 簡潔な言葉を飾り立てることによって、表向きだけを巧みに見せているということ。

④ 簡潔な言葉を用いていないために、名文とはかけはなれているということ。

問五 傍線部2「もし、当時の記憶が残っていれば、素晴らしい小説が書けるかもしれないのに……」とあるが、

筆者は、なぜそのように思ったのか。その理由として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答

番号は **21**。

- ① 言葉に初めて出会った頃の言語感覚があれば、ありのままの言葉による豊かなイメージに裏打ちされた素晴らしい文章が書けるかもしれないから。
- ② 子供の時の、最初に文字を覚えた強烈な印象をまだ持っていれば、その感動に隠された豊かな表現を文章にすることができるかもしれないから。
- ③ 子供の頃に用いたようなぶっきらぼうな表現を大人になって用いることで、大人には書けないような名文を書くことができるかもしれないから。
- ④ 子供のような言語感覚をもっている大人であれば、飾り立てない言葉を用いることによって表現の巧みな文章を書けるかもしれないから。

問六 この文章の表現の特徴として、最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は **22**。

- ① 客観的な事実の説明を積み重ねることによって、自分の主張の根拠を明確に伝えている。
- ② 人物描写を巧みにまじえることで読者の共感を誘い、自らの体験や感動を的確に伝えている。
- ③ 身近なエピソードから得られた自分の考えを、専門家の見解によって説得的に説明している。
- ④ 具体的なエピソードに沿った説明によって、自らの抽象的な考えをわかりやすく伝えている。

三 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。 解答番号は (23) (37)

私たちは、自由主義経済の中に生きています。したがって、競争が有効な ^a ガイネンであるということは認めざるをえません。労働者間の競争は労働者の能力と意欲を高め、企業間の競争は企業の生産性を高めます。一国の経済効率も、こうした競争があつてこそ高められるのです。しかし、競争の行き着くところでは、勝者と敗者が必ず生まれます。そして、その両者の間には格差が生じます。競争によって効率性が高められる一方で不平等が進行する、すなわち公平性が損なわれるわけです。この「結果の不平等化」に注目すれば、効率性と公平性は ^{*} トレードオフの関係にあると言えるでしょう。

そのことを示す有力な証拠もあります。たとえば、イギリスのサッチャー首相、アメリカのレーガン大統領による経済改革です。彼らは、規制 ^b カンフによる競争の促進、大幅な減税、福祉の見直しといった政策を行い、一九七〇年代後半から八〇年代にかけて、最悪の状態にあつたそれぞれの国の経済を立て直すことに成功しました。しかし、同時に所得分配の大きな不平等化が進行することとなったのです。

このイギリス、アメリカの例は、経済の効率性と公平性がトレードオフの関係にあることを示す有力な証拠になると思います。すなわち、経済政策によって経済効率が高まったが、公平性が犠牲となつてしまつたと解釈できます。 ^ア

^A、結果の平等・不平等とは別の視点から見た場合、効率性と公平性のトレードオフに関して別の結論が導かれてきます。すなわち、それは、機会の平等・不平等からの視点です。機会の平等・不平等というのは、人々が教育を受ける、職業に就く、企業で昇進するといった際に問題となります。公平性が高いということは、機会の均等が保たれていると理解できます。

では、逆に機会の平等がない社会を考えてみましょう。機会の平等がない社会では、誰もが競争に参加できません。有能な人、頑張れそうな人を競争に取り込まないという ^c 懸念が生じます。そのような人が、教育を受けられなかったり、職業に就けなかったり、仕事をさせてもらえなかったり、昇進できなかつたりといった具合に、そもそも競争に参加できずに、力を ^d ハツキすることができなかつたら、これは経済効率の面から見てもマイナスとなるでしょう。なぜなら、本来は経済効率を高めるのに ^e X するだろう人々が、排除されているからです。

このように、機会の平等・不平等の視点から効率性と公平性を検証すると、機会の平等性が達成されることが、むしろ経済の効率性を高めると結論づけられます。 ^B、機会の平等・不平等から公平性を理解した場合は、¹ 効率性と公平性はトレードオフの関係にはないと解釈できます。むしろ、公平性を増すことによって、効率性も増すと解釈できるのです。

このように効率性と公平性にトレードオフの関係があるかどうかは、視点を変えることによって、二つの違った結論が導かれます。では、日本社会において、この効率性と公平性のトレードオフが成立しているのでしょうか。このことを、次に考えてみましょう。

日本社会でも、経済の効率性を目指して、所得税の減税を行ってきました。高い所得を得ている有能な人の勤労

意欲を失わせないためです。高所得者の要求に政府が応えた形です。さらに、貯蓄を促進するために、資産課税への減税政策も行ってきました。貯蓄を促進することで、日本の資本蓄積を^dジユウジツしようという動機です。では、はたして、こうした動機と政策は実態に即したものでしょうか。すなわち

Y

ののでしょうか。私は、この問題を^二実証的に研究してみました。

その結果によると、日本において高所得者が高い税金を取られても、勤労意欲を失ったという実際の証拠はありません。私の見るところでは、高所得者たちが減税しろと主張したのは、ただ税金を払うのが嫌だというだけであり、税金を低くしたから勤労意欲が高まるという事実は証明されていません。税金の高低にかかわらず、今までも、日本国民は少なくとも勤労意欲は高かったというのが私の評価です。すなわち、税の高低によって、労働^e。キョウキュウに効果は現れていないのです。また、日本国民の貯蓄行動を見る限りにおいても、利子や配当の課税とはほとんど無関係に、貯蓄行動を行ってきています。すなわち、ここでも税の高低は貯蓄行動に影響は与えていません。

したがって、有能な人、高い所得の人の勤労意欲を阻害してはいけない、あるいは資本蓄積にマイナスがあつてはいけない、というような動機に基づいた税制の改革は、実証研究においては支持されないと、私は判断します。このことはいくつかの学問的研究によっても確認されています。逆に言えば、仮に税が高くても、高い勤労意欲、あるいは高い資本蓄積は保てるということです。

実際に、経済の効率性と公平性を達成している国があります。それは、現在の北欧です。北欧は福祉が充実し、分配の平等性も高いので、公平性が高いと言えます。なおかつ経済の好調も続いています。すなわち、効率性と公平性の双方を達成しているのです。

フィンランドのノキア、スウェーデンのエリクソン、ボルボなど、世界的にも有名な企業が活躍し、経済効率性は非常に高いと言えます。と同時に、国民の教育水準も非常に高く、勤労意欲も高い。皆で共同して経済効率を高くしようという意欲が感じられます。確かに、北欧は一九八〇年代に、経済が悪化し、福祉政策を見直した時期もありました。すなわち行き過ぎた高福祉が批判を受けたのです。しかし、その後、再度、政策を転換し、現在の福祉国家を存続させています。このように、現在の北欧では、効率性と公平性の両方を達成していると考えられます。

高い税負担や社会保障負担が、高い福祉を保障することによって、国民への安心感を与えることに寄与していることも強調しておきましょう。したがって、高い勤労意欲も保持させることができるのです。このように、²高福祉、高負担というあり方は、日本の将来を考える上で大きな参考になるでしょう。先述したように、日本国民は、少なくとも税が高いからといって勤労意欲や貯蓄意欲を失うことにはないのです。したがって、北欧のような生活を、日本は実現できる可能性がある、私は考えています。

北欧的な高福祉・高負担に対する日本の反対意見には、これらの国は小国だから国民の間の連帯感も強いので、政策が機能しやすいのであって、日本のような大国では無理だとするものがあります。その側面があることを否定しませんが、政策のやり方によっては北欧型は可能であるし、努力して国民のコンセンサスを得るようにすることは

可能でしょう。

(橘木俊詔「格差社会」)

*トレードオフ 何かを達成するために、別の何かを犠牲にしなければならないこと。

問一 傍線部 a～e と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

a ガイネン (23) ① イガイな結末になる。 ② 壮大なキガイをもつ。

③ コウガイを診察する。 ④ 社会にガイドクを流す。

b カンワ (24) ① カンボウ薬を処方する。 ② カンセツ的な方法を探る。

③ 身体が筋肉がシカンする。 ④ コウカン条件を提示する。

c ハツキ (25) ① コウキな身分に生まれる。 ② 生命のキゲンを解明する。

③ 職人のキシツを受け継ぐ。 ④ キハツ性の液体を扱う。

d ジュウジツ (26) ① ジュウコウな意匠の建築物。 ② ジュウゼンな知識を備える。

③ 福祉施設をカクジュウする。 ④ この地方にテイジュウする。

e キョウキユウ (27) ① 働いてキユウを得る。 ② 大切な論点にゲンキユウする。

③ ケンキユウを継続する。 ④ キユウメイ医療を学ぶ。

問二 空欄 A・B にあてはまる接続語として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。 解答番号

は (28)・(29)。

A (28) ① したがって ② そして ③ しかし ④ たとえば

B (29) ① しかし ② したがって ③ ところが ④ なぜならば

問三 空欄 X にあてはまる語として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。 解答番号は (30)。

X (30) ① 反対 ② 遠慮

③ 警戒 ④ 貢献

問四 二重傍線部Ⅰ「懸念」・Ⅱ「実証的」の意味として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。

解答番号は **(31)** ・ **(32)**。

Ⅰ **(31)** ① 気に入らず不満に思うこと。 ② 気になって不安に思うこと。

③ 気を配って熟慮すること。 ④ 気にかけて慎重になること。

Ⅱ **(32)** ① 権威と慣習により結論づけられるさま。

② 実益に適うように結論づけられるさま。

③ 仮説の形成により結論づけられるさま。

④ 経験的事実により結論づけられるさま。

問五 この文章からは、次の一文が抜けている。文中の **ア**・**エ**のどこに戻すのが適切か。あとから一つ選び。番号

で答えなさい。解答番号は **(33)**。

言い換えれば、日本経済は、効率性と公平性の両立を目指すことが可能だと判断できます。

① **ア** ② **イ** ③ **ウ** ④ **エ**

問六 傍線部Ⅰ「効率性と公平性はトレードオフの関係にはないと解釈できます」とあるが、このようなことが言

えるのはなぜか。理由として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は **(34)**。

① 経済競争に参加する機会の平等を、人々に保障するという意味での公平性を高めることは、有能ではない人々の経済競争への参加をも可能にし、それにより経済効率は低められることになり、公平性を追求すると効率性が損なわれるという関係が生じているから。

② 経済競争における努力の成果の享受を、人々に保障するという意味での公平性を高めることは、人々の経済競争への意欲を一層高め、それにより経済効率は高められることになり、効率性を追求すると公平性が損なわれるという関係が生じていないから。

③ 経済競争に参加する機会の平等を、人々に保障するという意味での公平性を高めることは、同じ条件で経済競争に参加しているという安心感を人々にもたらし、それにより経済効率は高められることになり、効率性を追求すると公平性が損なわれるという関係が生じていないから。

④ 経済競争に参加する機会の平等を、人々に保障するという意味での公平性を高めることは、有能な人々の経済競争への参加を可能にし、それにより経済効率は高められることになり、効率性を追求すると公平性が損なわれるという関係が生じていないから。

問七 空欄Yにあてはまる言葉として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は **(35)**。

- ① 低い税を取られると勤労意欲が失われ、貯蓄が増す
- ② 高い税を取られると勤労意欲が生じて、貯蓄が増す
- ③ 高い税を取られると勤労意欲が失われ、貯蓄が減る
- ④ 高い税を取られると有能な人は自尊心を満たされる

問八 傍線部2「高福祉、高負担というあり方」について、筆者の考えと一致しないものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は **(36)**。

- ① 高い税負担や社会保障負担は、国民の勤労意欲を減退させ、結果として、高福祉を実施するための財源を確保できなくなるため、高福祉は目指すべきだが、高負担であってはならない。
- ② 高い税負担や社会保障負担は、国民に高い福祉を保障することになるため、国民は意欲的に勤労して高負担を引き受け、その成果としての高福祉による安心感を得ようとする。
- ③ 日本の国民は高い税負担や社会保障負担の下でも勤労意欲を失わないため、低負担の下で低福祉を保障されるよりも、高負担の下で高福祉を保障される方を選択する可能性がある。
- ④ 北欧に比して日本は大国であるが、高負担、高福祉に向けた政策は、そのやり方次第で日本でも機能するし、努力をすれば、高負担、高福祉に対する国民の同意を得ることも可能である。

問九 本文に書かれている内容として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は **(37)**。

- ① 自由主義経済の社会において、経済の効率性を高めるためには、能力に基づく競争は不可欠であるため、競争が生む結果の不平等は公平性を損ねてはいるが、経済の効率性とのトレードオフとして、認容せざるを得ない。
- ② 税負担の高低にかかわらず、日本の国民の勤労意欲は高く、経済の効率性を高めることを理由とする税の低負担政策には実証的な根拠はなく、高負担の下であっても、条件によっては経済の効率性を高められる可能性がある。
- ③ 税負担の高低にかかわらず、日本の国民の勤労意欲は高く、経済競争に勝利した有能な国民はもとより、すべての国民に対して可能な限り高い税を課す政策を採ることが、日本の福祉の品質を向上させるために不可欠である。
- ④ 税負担の高低にかかわらず、日本の国民の勤労意欲は高いため、経済の効率性と公平性とのトレードオフが成立している格差社会であっても、いずれは北欧のように、市場の原理によって自然にその格差が是正されることになる。